

新型コロナウイルス感染症 感染対策と社会経済活動の両立を！

- 依然として、本市の感染状況は昨年夏のピーク時を超えた高い水準で推移しています。
 - 本市の人口10万人あたり新規感染者数(7日間移動合計)は**5月30日時点で170.4**と第5波ピーク時の**1.3倍**
 - 感染者の**約半数が29才以下**の若い世代。**10代以下**の割合が特に**高い**が**高齢者の割合も増加**。
- 国においては、「マスク着用」の考え方が示されるとともに、6月1日から水際対策が緩和され、外国人観光客の受入実証事業が開始されるなど、コロナ禍で深刻なダメージを受けている経済への対策が進められています。
- “withコロナ(ウィズコロナ)”の考え方のもと、感染対策を引き続き行いつつ、社会経済活動をしっかりと進めていきましょう。

感染防止対策の徹底・継続

- いつもと体調が違ったりと感じたら、全ての行動(出勤、通学)をストップして、まずは、身近な医療機関に受診を！
- 「マスクの着用」、「手洗い・手指消毒」、「こまめな換気」、「3密(密閉空間・密集場所・密接場面)のうち一つでも回避」
- ワクチンを接種できる環境を整備していますので、希望される方はできる限り早く接種を！

【マスク着用の考え方】

- 国の基本的対処方針に沿って人との距離(2m以上)や会話の有無により、メリハリをつけて着用。熱中症予防の観点から、屋外の「必要なし」の場面では、マスクを外すことを推奨！

	人との距離が確保できる		人との距離が確保できない	
	屋内	屋外	屋内	屋外
会話をする	着用推奨*	必要なし	着用推奨	着用推奨
会話をほとんどしない	必要なし	必要なし	着用推奨	必要なし

*十分な換気など感染防止対策を講じている場合は、外すことも可

- 2歳未満(乳幼児)は、マスク着用を奨めない。
- 本人の意に反してマスクの着脱を無理強いしない。
- 感染事例が多く見受けられる「5つの場面」に注意！
 - 場面1 飲食を伴う懇親会など(注意力が低下、大声になりやすい)
 - 場面2 大人数や長時間の飲食(2次会、3次会、深夜のはしご酒など)
 - 場面3 マスクなしでの会話(車やバスでの移動の際も要注意)
 - 場面4 狭い空間での共同生活(寮の部屋やトイレなど共用部分に注意)
 - 場面5 居場所の切り替わり(休憩室、更衣室、喫煙室などは要注意)



飲食・移動に関して

- 「新型コロナ対策実施店舗向けステッカー取得店舗(第三者認証)」を利用し、マスク会食(食事中は静かに、会話はマスク着用)を徹底！
- 旅行、レジャーの移動中・移動先においても、基本的な感染防止対策の徹底を！

事業者の皆さまへ

- 職場環境を整備し、体調不良者が必ず休暇を取得できるようにしてください！